

トリアス特設会場にて初開催 「令和八年 久山町消防団～消防出初式」



TORIUS to BIZ Event Report vol.20

強い風が吹き、雪がチラホラと舞う中、トリアスの特設会場にて「令和八年 久山町消防団～消防出初式」が開催されました。

昨年70周年を迎え、益々地域での活躍が期待される団員の皆さんの活動の様子を、一般の方にも知っていただくため、例年実施されていた久山中学校のグラウンドではなく、今回はトリアスの駐車場を使った特設会場で初めて開催することになりました。



団員の熱量が伝わる分列行進

この日は朝から、強い風に小雪がチラつき、かなりの寒さの中でしたが、号令に対してキビキビと動く団員の皆さんの熱気で、雪も地上に着く前に溶けていくようでした。登壇した西村勝町長に対し、井上団長が人員報告を行いました。

強い風に国旗と町旗がはためくなか、つつがなく式典が進行していき、観閲の際には、人員、服装、機械器具点検と、日常の訓練の様子を垣間見ることができました。また、圧巻だったのは、分列行進です。7つの分団がそれぞれに分かれて、旗手を筆頭に団長、副団長に続き行進を行います。行進時、指揮台上の西村町長に向かって、全員が敬礼する様は、とても凛々しく、寒い中、観覧に来場された団員のご家族も、写真をたくさん撮られていたようです。息子さんが消防団で活動されているというお母様にお話を伺いましたが、「始まる前に頑張ってと声をかけてきました」とおっしゃっていました。

行進のうしろには、それぞれの分団に属する消防車が、指令車を筆頭に、行進していきます。消防車の後ろ側には、それぞれ違う火消しのマークなどが描かれており、分団の特徴が表されているようです。

その後の町長の挨拶、粕屋南部消防本部 消防長挨拶、表彰状並びに感謝状の贈呈などが終わり、ご来賓の方々もそれぞれ祝辞を述べられました。

衆議院議員 宮内 秀樹様

福岡県知事 服部 誠太郎様(代読)

福岡県粕屋警察署署長 寺澤 憲様(代読)



国旗・町旗掲揚



久山町議会議員 山野 久生様

久山町区長会会長 山邊 信利様



町長挨拶



柏屋南部消防本部
消防長挨拶



表彰並びに
感謝状の贈呈



来賓の祝辞



今回初めての別場所での開催でしたが、会場の駐車場で車内から出初式の様子を観覧されている方もおり、第三者の方に認知いただくという点では、良い試みになったのではないのでしょうか。最後は参加の皆さんと万歳三唱で締めくくり、式典はつつがなく終了しました。



消防団の地域での役割と活動について

今回の実施について、また、消防団としての活動、今年の抱負について、消防団 団長 井上 貴寛氏に、お話を伺いました。

—今年初めて、トリアスを会場とさせていただいたのですが、例年、会場としていた久山中学校の、ある意味閉鎖的な場所での開催ではなく、第三者の目がある場所での実施で、地域住民の皆様にも、消防団の役割そして防災の大切さを知っていただくことができればというのがきっかけです。



井上 貴寛 消防団 団長

現在、消防団の団員は全国的に人数が減っておりますので、知っていただくことで、団員の増員や地域防災の強化につながっていけばという思いもあります。消防団と消防署とは、若干役割が違って、消防団員はもちろん訓練を受けておりますが、ほとんどが一般の企業勤めです。役場の職員も所属していますが、もちろんほとんどが別の仕事を持っており、非常勤特別職の公務員になります。そのため、何かありましたらみんなに集まってもらい活動します。自然災害、火災など、地域で起きた場合に、消防署の出動を待つよりも早く動けることもあります。

地域の消防団としては、次世代につなぐ意味も含め子供たちにも地域防災の意識を持ってもらうきっかけになればと、防災週間など消防夜警をする期間に自分たちの地区と一緒に子供たちと廻ったり、年末パトロールなど、火災予防活動をしています。

そのほかの活動として、消火活動に必要な基本動作や技術の正確性・早さを競う消防ポンプ操法大会があります。毎年6月に町大会が開催され、2年に1度は糟屋地区大会、福岡県大会、全国大会へと続く上位大会があり、優勝すると次の大会へ出場することができます。2024年度は福岡県大会で優勝という素晴らしい成績を収めることが出来ました。今年2026年も上位大会が開催されますので、今年も優勝できるよう励みたいと思っています。

昨年は、岩手や近隣では大分の佐賀関の大規模火災などが起こっており、近くに山がある久山町もまさに「対岸の火事」ではないと、注意喚起が必要です。とにかく、一に防災、二に防

災と、取り組んでいけたらと思っています。久山町でも、14年前にとんでもない規模の火災が工場団地で発生し、約三日間燃え続けたことがあります。そのときは、消防署を中心に、近隣の消防団にも応援をお願いし、一緒に活動を行いました。もし火事が起こった場合、基本消防署が先に動きます。しかし、地元の事はやはり、一番地域の方がわかっていらっしゃるの、消防団に声が先に届くことがあります。今後も地域に貢献できる消防団としての活動を続けていければと思います。—

以上のように、地域コミュニティにとっては大変重要な役割を消防団が担っているようです。また、ご自身も役場時代に消防団活動をされていた、西村 勝町長にもお話を伺ってみました。

■ 役場職員も多く入団する地域防災の要

—久山町消防団は18歳～40歳まで入団することができ、私も20歳の頃から約15年間団員として活動していました。町内に住んでいなくても、町内で勤務していれば入団でき、役場職員も多く入団しています。また、消防団員には女性もあり、広報啓発をメインに活動を行っています。地域コミュニティと積極的に関わるきっかけともなっており、消防団員の方々は、在籍できる年齢を越えて退団した後も、世代間コミュニケーションの中心人物として活躍してくださっています。火事など災害発生時は、119番通報で消防署が出動しますが、地域のことを一番知っている消防団が動くことで、初期消火などに早く対応できる場合もあり、消防署と消防団はお互いのお互いの役割を果たしています。

最近、消防団の団員が全国的に減少していますが、久山町消防団は人口の比率的には、団員数が多いです。消防団は住民の生命、財産を守ることはもちろんのこと、地域コミュニティを形成していくうえで必要な団体です。

今回のように、多くの方がお越しになるトリアスで出初式をやることは、一般の方々に消防団活動を知ってもらえる、非常に意味があることだと思います。そして、それが地域防災意識の向上に繋がればと思います。—

このように、西村町長からもお話をいただきました。

今後も、トリアスでは地域コミュニティの活性化の一助になるランドマークとして、たくさんの方々に協力することができればと思います。

令和8年1月11日(日)10:00～

令和八年 久山町消防団 消防出初式

式典会場:トリアスウエストゾーンナフコ前特設会場

式典終了後:トリアスキッズガーデン

◆ 消防車展示(写真撮影・乗車体験)

◆ 防災グッズの販売



消防車展示 本部分団



消防車展示 第一分団



消防車展示 第二分団



消防車展示 第三分団



消防車展示 第四分団



消防車展示 第五分団



消防車展示 第六分団